

第9回横幹連合コンファレンスプログラム概要(2018.9.7版)
2018年10月6日(土)、7日(日) 電気通信大学

10月6日(土) 開場 8:30 (受付はB棟ロビー)

	A会場 旧C棟201	B会場 旧C棟301	C会場 C棟103	D会場 C棟203	E会場 C棟303	F会場 C棟403	G会場 B棟ロビー
9:30-11:30	A-1 「一般講演1」座長(未定)	B-1 OS 06 「品質工学(タグチメソッド)と統計科学」権広計(統計センター)	科研費分野新設検討会	D-1 OS 14 「超スマート社会とAI」長井 隆行(電気通信大学)			
	A-1-1 人間の視覚特性に基づく運転支援情報の提示手法(針ヶ谷 勇星, 白山 晋)	B-1-1 品質工学(タグチメソッド)とは何か(立林 和夫)		D-1-1 人工知能と社会-2025年の未来予想-(栗原 聡)			
	A-1-2 ランドマークに基づいた歩行案内に関する研究(白井 結哉, 白山 晋)	B-1-2 超因子に基づくデータドリブンの設計学(高橋 武則)		D-1-2 ロボットと人工知能(長井 隆行)			
		B-1-3 ノイズ共変量に対するロバストパラメータ設計(佃 康司)		D-1-3 スマート社会における自然言語処理とAI(内海 彰)			
		B-1-4 田口玄一の実験計画法一統計学に対する貢献(権広計)		D-1-4 スマート社会における感性AI(坂本 真樹)			
		B-1-5 統計的モデリングに基づくマハラノビス・タグチ・システム(大久保 豪人)					
		B-1-6					
11:30-12:30	<p>昼食 (会長懇談会はC会場で行います) 開催校ご挨拶 電気通信大学長 福田 喬 氏 総合司会: 権美智子(電気通信大学) 会場: H会場(B棟202)</p>						
12:40-12:45	<p>特別講演「ユビキタスから超スマートへ出藍の蒼れ」 電気通信大学情報理工学研究所 機械知能システム学専攻 教授 新誠一 氏 会場: H会場(B棟202)</p>						
12:45-13:45	<p>パネル討論会「ひらけ 超スマート社会」 コーディネータ・司会: JST未来社会創造事業「超スマート社会の実現」領域運営統括 前田章 氏 パネリスト(敬称略): 井村順一(東京工業大学), 田野俊一(電気通信大学), 西村秀和(慶應義塾大学), 松塚貴英(富士通株式会社), 鷲尾隆(大阪大学産業科学研究所, NEC-産総研人工知能連携研究室) 会場: H会場(B棟202)</p>						
13:50-15:20	<p>ポスターセッション G会場(B棟ロビー)</p>						
15:20-16:10	A-2 OS 09 「データ駆動型社会における観光サービスの展望」佐藤 彰洋(京都大学)	B-2 OS 01 「超スマート社会を支えるエネルギープラットフォームに向けた基礎技術」横川 慎二(電気通信大学)	C-2 OS 05 「スマート・ファクトリーに向けた生産ネットワークシステムの最適化」孫 晶(名古屋工業大学)	D-2 OS 16 「超スマート社会とIoT(通信、組み込みシステム、センサ)」小花 貞夫(電気通信大学)	E-2 OS 17 「超スマート社会とレーザー・光計測技術」米田 仁紀(電気通信大学)		ポスターセッション (投票は18:00まで)
16:20-18:20	A-2-1 観光地域経済調査からみた観光産業の季節変動分析(大井 達雄)	B-2-1 グローバル展開を前提とした超スマート社会の確立を目指すエネルギープラットフォーム(市川 晴久, 横川 慎二, 川喜田 佑介)	C-2-1 生産ネットワークシステムにおける最適化に関する研究(孫 晶, 山本 久志, 松井 正之)	D-2-1 ワイヤレス通信とIoT-マイクロとマクロの視点-電波伝搬との関連から(山尾 泰, 藤井 成生)	E-2-1 波長変換結晶の新展開(栗村 直)		
	A-2-2 京都市における観光の現状(井上 景介)	B-2-2 離散および連続的動作空間における深層強化学習を用いたスマートエネルギーシステムの最適化(日置 智之, 武石 将知, Malla Dinesh, 坂本 克好, 山口 浩一, 曾我部 東馬)	C-2-2 生産ネットワークシステムにおける最適化に関する研究-作業者の生産能力が3種類ある場合- (趙 曉雯, 山本 久志, 孫 晶, 大岡 龍佑)	D-2-2 画像フュージョン技術とIoT(張 熙, 宮川 愛加)	E-2-2 波長2μm帯中赤外短パルスTmレーザーの開発(戸倉川 正樹, 相楽 啓, 鈴木 杏奈, 原田 有生)		
	A-2-3 MaaS時代におけるサービスデザイン(早川 慶朗)	B-2-3 グルーピング列挙による風力・太陽光・蓄電池複合システムの重複グルーピング最適化(武田 健吾, 澤田 賢治, 横川 慎二, 新誠一)	C-2-3 生産・物流向けIoT用スマートタグの提案(堀川 三好, 岡本 東, 村田 嘉利)	D-2-3 コネクテッドカーとスマートモビリティ時代の到来(本多 輝彦)	E-2-3 X線自由電子レーザーと超高出力レーザーの組み合わせによる新しい科学(飯内 俊毅, 矢橋 牧名, 今 亮, 大伏 雄一, 富樫 格, 富澤 宏光)		
	A-2-4 東京オリンピックの課題-需要予測の立場から見た問題点(福本 和泰)	B-2-4 創発的不具合における機能共鳴の分析と分類(横川 慎二)		D-2-4 IoTのフィールド実証と課題(大谷 朋広, 宇都宮 栄二)	E-2-4 超耐久光学素子によるレーザーシステムの小型化(米田 仁紀, 道根 百合奈)		
	A-2-5 データ活用基盤とグローバル観光サービスデザイン(佐藤 彰洋, 権広計)						
	A-2-6 訪日インバウンド旅行事業の取り組みと今後の課題(熊田 順一)						
18:30-20:30	<p>懇親会 会場: 電気通信大学学生会館3階 レストラン・ハルモニオ</p>						

10月7日(日) 開場 9:00 (受付はB棟ロビー)

	A会場 旧C棟201	B会場 旧C棟301	C会場 C棟103	D会場 C棟203	E会場 C棟303	F会場 C棟403	G会場 B棟ロビー
9:30-11:30	A-3 OS 04 「品質・信頼性・安全性への未然防止体系の新展開」鈴木 和幸(電気通信大学)	B-3 OS 12 「次世代型デザイン思考とイノベーション」永井 由佳里(北陸先端科学技術大学院大学)	C-3 OS 11 「社会リスクマネジメント」倉橋 節也(筑波大学)	D-3 OS 13 「超スマート社会(Society5.0)のイメージと実現上の課題」田野 俊一(電気通信大学)	E-3 OS 03 「経営高度化へのMATRIXアプローチと意思決定プロセスの研究」大場 允晶(日本大学)	F-3 OS 18 「超スマート社会実現のためのJSTプロジェクト「構想駆動型社会システムマネジメントの確立」」本多 敏(慶應義塾大学SDM研究所)	
	A-3-1 品質・信頼性・安全性への未然防止体系とその新展開(鈴木 和幸)	B-3-1 超スマート社会における生活者とデザイン思考(近藤 健次)	C-3-1 社会リスクマネジメントのためのモデルベース政策形成(倉橋 節也)	D-3-1 連続的に進化する超スマート社会(Society5.0)とそれを支えるプラットフォームのコンセプト(田野 俊一)	E-3-1 産業のマトリックス法-一般形式、産業連関決定法と業務適用方法論の考察(松井 正之, 中島 信, 仲田 知弘)	F-3-1 超スマート社会実現に向けたシステム連携のためのSoSアーキテクチャに基づくマネジメント(西村 秀和)	
	A-3-2 ICTによる市場データ活用と車両開発の信頼性向上(照崎 千晴, 鈴木 和幸)	B-3-2 イノベーションデザイン教育の事例報告(藪内 公美, 前川 正実, 永井 由佳里)	C-3-2 ドライバーと歩行者のリスク解析(伊藤 誠)	D-3-2 連続的に進化する超スマート社会におけるデータ・システム連携とプラットフォーム(橋山 智訓, 工藤 俊亮)	E-3-2 納期調整業務の業務プロセス分析とマトリックス・アプローチによるサプライチェーンの情報評価(大場 允晶, 石井 信明, 中野 良樹)	F-3-2 社会的ビューポイントからのSoS評価(遠藤 薫)	
	A-3-3 インシデント情報を活用したリスク対応(田中 健次, 坂東 幸一, 津本 周作, 佐藤 直樹)	B-3-3 「カナザワメイカー」社会人向けデザインスクールについて(永井 由佳里, 藪内 公美, 谷口 俊平, 中村 翼, 今村 新)	C-3-3 金融リスクのナウキャスト(水野 貴之)	D-3-3 連続的に進化する超スマート社会における人間知・機械知連携とプラットフォーム(南 泰浩)	E-3-3 多様化・複雑化の進展に対し、集団知と調和を引き出すExpression 4.0の提案(外山 味之, 中島 信)	F-3-3 超スマート社会実現に向けた新たなシステムアプローチ(貝原 俊也)	
	A-3-4 社会インフラとしての歩車共有空間におけるリスクの評価とマネジメント(伊藤 誠)	B-3-4 超スマート社会における省人化デザイン(角田 勝, 永井 由佳里)	C-3-4 都市施設の閉鎖リスクを考慮した配置・保護戦略(鈴木 勉)	D-3-4 連続的に進化する超スマート社会におけるCyber/Physical連携とプラットフォーム(金子 修, 澤田 賢治)		F-3-4 システム制御技術による超スマート社会構築へのアプローチ(滑川 徹)	
		B-3-5 仕事における学習観と組織的知識創造(近藤 健次)	C-3-5 保健医療分野におけるリスクマネジメント(市川 学)			F-3-5 超スマート社会実現のための制御APIの開発と概念実証のための社会実験北九州での取り組み(中武 繁寿, 永原 正章)	
			C-3-6 市民教育を用いた社会的リスクの軽減-少子化現象について学ぶカードゲームの設計と実施(李 皓)			F-3-6 MSOX: 社会システム利用に向けた人行動の情報流通(戸辺 義人, 中山 悠, 梅田 和昇, 伊藤 昌毅, 瀬崎 薫)	
11:30-13:00	<p>昼食</p>						
13:00-15:00	A-4 OS 08 「超スマート社会に向けたリモートセンシング分野の最前線」伊東 明彦(日本リモートセンシング学会)	B-4 OS 02 「コトつくり至宝発掘の試行」川中 孝章(東京大学)	C-4 「一般講演2」座長(未定)	D-4 OS 15 「超スマート社会と医工連携(オーグメントヒューマン)」横井 浩史(電気通信大学)			
	A-4-1 オープンデータ利用促進によるスマート社会への実現(古橋 大地)	B-4-1 QCサークル活動-国際化した小集団改善活動(光藤 義郎, 小原 好一, 権広計)	C-4-1 感性価値戦略(長沢 伸也)	D-4-1 デジタルホスピタルとトータルライフサポートシステム-持続可能な社会を実現させるプラットフォーム(北原 茂実)			
	A-4-2 農業のスマート化に向けた先進リモートセンシングと空間情報技術(井上 吉雄)	B-4-2 衛星による温室効果ガスの観測とその利用-温室効果ガス観測技術衛星(GOSAT)シリーズの成果と今後の展望(松永 恒雄, 横田 達也)	C-4-2 データ駆動型イノベーションのための量子超越性の技術予測と連動する次世代型汎用スキルの体系化評価の試み-組合せ最適化のシステムデザイン力等を用いた量子コンピューター時代の「プログラミング的思考」定義を問う(鈴木 羽留香)	D-4-2 人間拡張工学による運動の支援(野崎 琢也)			
	A-4-3 フィジカル空間とサイバー空間の融合によるスマート社会への実現に向けて(中村 良介)	B-4-3 LバンドSARを用いた干渉SARによる微細変位の抽出(祖父江 真一)	C-4-3 デジタルツインによる被災者支援の在り方について(天野 徹)	D-4-3 非接触バイタルサイン計測技術による健康モニタリング(孫 光鶴, 桐本 哲郎)			
		B-4-4 AICが生み出したプレイスルー(田村 義保)					
		B-4-5 横浜ビジネスゲームYBG(田名部 元成)					